



高梁川流域の企業文化

# 晴れの国に棲む「龍の仕事展」2017

## 事業概要

■イベント名： 高梁川流域の企業文化 晴れの国に棲む「龍の仕事展」2017

■開催日： 2017年9月16日(土)～9月24日(日) 10:00-17:00

■会場： 倉敷アイビースクエア内 アイビー学館 (760平米・約200坪)

■公募趣旨： ものづくりに関わる企業は、その発生・発展・開発商品が地域特有の気候・風土・歴史・文化に大きく影響を受け派生しています。すなわち土着企業の生き残るための工夫こそが、地域と密接に結びつく固有文化を形成するものです。高梁川流域で営業するものづくりの企業が、企業文化に焦点をあてた地域文化の展示・商品の販売を行うものです。

■応募資格： 1) その派生を高梁川の豊かな恵みに起因する老舗のものをつくる企業  
2) 時代の変化を捉え、新たに次世代へ受け継がれるものをつくる企業  
3) モノは有形・無形を問いません  
4) 新卒大学生の求人・人材を求めている企業

■開催形式： 1) 出展者ごとに会場を分け、各企業と学生で展示。  
2) 各社が直接販売する場合は売上を100%還元。  
3) 会場スタッフが委託販売を行う場合、10%の手数料要。

■参加費用： 50,000円 (会場費/広報費/学生スタッフ経費など)  
実行委員ブースの出店も可能です。>> **基本は1ブースMAX:5社まで(企業数で50,000円を分割できます)**

■交流会： 2016年7月12日(水) 17:00-19:00 倉敷商工会議所にて  
「学生の受入のお願いと協働プログラム」について話しますので、**必ずどなたかご出席ください**

■搬入搬出： 2017年9月14日(木)～9月15日(金) 10:00-18:00：搬入  
2017年9月16日(土)～9月24日(日) 10:00-17:00：展示会  
2017年9月24日(日) 18:00-21:00 ・ 9月25日(月) 10:00-17:00：搬出・現状復帰

## 龍の仕事展とは

## 企画コンセプト

龍の仕事展とは、毎年9月に倉敷アイビースクエア内のアイビー学館を会場として高梁川流域のものづくり企業、約30社が企業文化の展示を行い、商品のPRや販売を行うものです。2010年の国民文化祭から毎年開催され、今年で8回目を迎えます。

「龍」とは高梁川のごとで、地域名を持つ川の名称ではなく、流域にあまたの恵みを与えた母なる川として、このイベントでは高梁川を龍と呼んでいます。また、高梁川は古代「吉備のくに」の中核として多くの文化を生み出し、多くの地域をつなげました。

私たちは、この母なる川を「龍」というひとつのシンボリックプライドとして掲げ、広く同じ水で生かされている備中エリアの人々がつながり、協力しあうことを目指しています。私たちが「龍の末裔」として、この地を愛し、さらに豊かにしていきたいと願うことが、この流域に暮らす人達が生涯に渡って誇り高く、心豊かな生活を営むために必要な生活具を残し、伝え、また新たに企画開発していくことに結びつき、そして固有のライフスタイルを実現していくことを目指したコンセプトなのです。母なる川の恵みを受け、この地で「もの」を生み出すことを「なりわい」とする「龍の末裔」の仕事を集めた展示が「龍の仕事展」なのです。

ものづくりに関わる企業は、その発生・発展・開発商品が地域特有の気候・風洞・歴史・文化に大きく影響を受けて派生しています。すなわち、土着企業の生き残るための工夫こそが、地域と密接に結びつく固有文化を形成するものなのです。

そしてこれは、資本も人材も弱い地方のブランドが、都市部と戦略的に差別化できる重要な切り口であり、地方にこそ都市のブランドが切り捨ててきた歴史・文化が強く残っている強みを再認識すべきなのです。今後、海外市場に対しても、日本が次に輸出すべき商品に「文化」＝クールジャパンが期待されています。企業文化の展示とは、商品を売らんがための展示・即売ではなく、しっかりと企業文化に焦点を当てた展示を行います。企業自体も自らの足元を掘り下げること、見落としていた自社の付加価値を見直し、「製品」から地域ブランドといった「商品」を生み出すきっかけにもなります。

更に、全国から大勢の観光客が訪れる倉敷美観地区の中核的施設である倉敷アイビースクエアを会場として地域企業の展示・商品の販売を行うということは、地域のファンが集まる場所で地域ブランドをPRできる強みに加え、全国各地の人々に対し新商品のテストマーケティングを行うことも可能で、十分にコンベンション機能を有しています。加えて、来訪者並びに地域住民には地域の文化を広く学ぶことのできる機会と場の創出として、広域観光学習、企業認知による就業企画の促進にもつながる可能性を持つものです。

■人材育成 >> 自己啓発力・自己教育力・地域戦略を身につけた人材育成の支援

・大学生インターンシップとの協働

自己啓発セミナー・キックオフセミナー・マーケティングセミナーなどの【事前研修】を受けた大学生が、各企業を訪問し、企業理念や品質管理、商品開発などを理解します。大学生たちは龍の仕事展での課題を企業と共有し、展示・販売計画の提案を行ったり、商品開発などを企業と協働で行い、9日間の「龍の仕事展」の企業ブースをサポートします。学生たちは龍の仕事展の後も成果発表や事後研修を行い、この体験を今後の生活に活かす自己教育力を身につけます。

・学生と企業の協働プログラム開発の支援

企業を持つ課題を大学生と共有し、課題解決型インターンシップのプログラムを開発していただける企業を支援します。事務局は中間研修・直前研修を通して、学生の課題解決のアウトプットをフォローして参ります。龍の仕事展にしか使えない販促ツールではなく、龍の仕事展以降も使えるツールの開発をこれからの市場をつくる若者と開発してみませんか。

■流域商品開発・産業振興 >> 倉敷の魅力に関心のある来訪者に対し、流域の企業文化・商品価値を国内外へ情報発信

・テストマーケティングやビジネスマッチングの機会

会場には9日間で14,000人(過去実績値)を超える人々が来られます。半数以上が県外からのお客で、東京、京都、大阪、広島、福岡など都市部は勿論のこと、北海道から沖縄まで全国から倉敷美観地区に来られます。観光地で流域の商品をPRできるということは、ファン層が比較的多い場所で商品をPRできる価値があります。

・インバウンドに向けた情報発信

毎年参加企業と流域の文化を発信するイベントのパンフレットは各方面からとても評価が高く、アイビスクエアを訪れる欧州、中東、アフリカ、アジア、アメリカ、オセアニアからの来訪者に対し、外国語学科の大学たちが活躍しています。

■広域学習観光 >> 企業文化の伝達と高梁川流域の魅力訴求による広域観光の促進

・広域連携の価値

高梁川流域連盟趣意書に則り、倉敷は今後も流域連携を強化して参ります。それぞれの地域がばらばらに地域の訴求を行うより、高梁川流域として倉敷から情報を発信する優位性を利用し、産業振興に加え広域観光へのサポートも視野に入れています。会場でPRしたい内容は企業を越えて地域戦略へ広げてお考えください。

文化・経済の高梁川流域連盟を目指して

運営目標

■流域産業の振興

全国、また海外から年間300万人の人を集める倉敷美観地区の中核にある200坪の箱。アイビス学館の今後の利用モデルとして、高梁川流域の商工会議所・商工会・観光協会・大学が自由に展示企画を持ち込める場として企業にとってコストパフォーマンスの高い利用施設の可能性を目指します。是非、新商品のテストマーケティングや販売促進活動にご利用ください。

■流域文化の発信

出展企業は全国から訪れる観光客並びに地域住民に対して、企業イメージ(創業・経営経緯・事業展開・将来ビジョンなど)や商品開発のエピソード、商品紹介(販売も可)を行います。流域内企業間の異業種交流や新たなビジネスチャンスの創出、更には求人・人材発掘、各種マッチングにご活用ください。

■持続可能な運営

継続性・発展性のある事業として、将来的には参加費等で自立・運営することを目指しています。各企業には50,000円の出展料をお支払いいただきます。出展料には会場費、パンフレット作成費、共通パネル作成費、学生と行う協働プログラムの支援にかかる費用などが含まれます。パネルは展示終了後、ご自由に利用いただけます。昨年ご参加いただいた方々は、他の展示へ利用された企業も多数あります。

■産・官・学の連携

流域の大学・専門学校への就業力支援として各学校へのアプローチを進め、学生との協働を強化し、産官学の連携を目指します。将来的には企業文化を理解した学生の求人・人材発掘にご活用いただけるようにしていきたいと考えております。

■実績と目標

- ・2010年は30、2011年は27.5、2012年は30.5、2013年は30.5、2014年は28、2015年は29、2016年は22ブースが参加  
 >> 2017年は30社・団体の参加を目指します。
- ・2010年は4,000人(10月)、2011年は8,498人(以降9月)、2012年は8,680人、2013年は9,153人、2014年は11,131人、2015年は14,597人、2016年は12,804人が来訪  
 >> 2017年は15,000人の集客を目指します。
- ・2010年は48万円程、2011年は149万円、2012年は370万円、2013年は278万円、2014年は246万円、2015年は367万円、2016年は299万円の売上  
 >> 2017年は400万円の売上を目指します。
- ・2011年は9名、2012年は20名、2013年は64名の、2014年は52名、2015年は34名、2016年は33名の大学生が参加  
 >> 2017年には40名の学生参加を目指します。



# D-INTERNSHIP

## 導入のポイント

### ■インターンシップを受け入れるメリット：

#### >> 学生と会社が本気で勝負をしたら、学生の成長が会社の成長になる！

- ・多くの受け入れ先は、社会貢献を上げますが、ゆくゆくは若い世代が市場を作っていくことを考えれば、大学生は重要な顧客と考えられます。企業を理解してもらいファンになってもらうことは大切な戦略です。
- ・また、インターンシップに熱心に取り組んでいる企業の話に出てくるのは「受け入れた部門や担当者の活性化に役立っている」で、若者の価値観や商品の捉え方、問題への解決方法に刺激を受けたり、初心に帰ったという例を多く耳にします。経験も知識も無い若者。その常識の無さが、会社の経営にとって大いに役に立つ場面もあるはず。龍の仕事展も8回目を迎えます。ルーチン業務となって見えなくなっている視点を学生と一緒に掘り起こしませんか？
- ・インターン生の最大の強みはその若さ。真っ直ぐな気持ちと、底知れないエネルギーと体力で取り組む、営業的な仕事は得意な分野に向いています。モノを作りたい学生もそれを売る喜びを知る事が、モノづくりのモチベーションを醸成します。しかもそのエネルギーは、周りにも影響を与え、組織にも刺激をもたらします。
- ・人材がいないので保留にしているアイデアを試してみませんか？ 新規事業の立ち上げ、右腕としての活用、営業・販路開拓など、大学生と組んで成功している事例が全国では多数あります。成功事例に共通しているのはプロジェクトの設計をきちんと行い、それに合った学生を獲得し、適切なフォローと指導を行っています。
- ・中小企業が集まる地方だからこそ、今、事業参画型の本気インターンシップが求められているのです。

#### >> いまどきの若いものは…、まんざら捨てたもんじゃない！

- ・「いまどきの若いものは…」と昔からよく言われる言葉ですが、数年、大学生と関わってきて感じることは、我々が育った環境と全く新しい価値観を持っているという事。モノも情報もあふれた時代に育った若者は、全て欲しがった私たちとは大きく異なり、自分に必要なもの、必要でないものをはっきりと主張できるのです。これは、時代が作ったマーケティングの素養を若者たちは自然と備えているということです。そんな新しい価値観の若者たちと企業が接点を持つことは、地方の企業にとってとても貴重な機会とお考えください。もちろん、大学生ですから社会人のような知識や経験・常識がないのは当然。しかし、彼らのつたない発想の中に、業界の常識として諦めていた視点や、知識・経験が邪魔をしてやる前に諦めていることや、見落としている客側の発想などが多くちりばめられているということです。また、本プログラムを通して変化していく学生たちの成長にも観察してください。もしかしたら、将来、御社の戦力になる学生が見つかるかもしれません。

### ■D-INTERNSHIP公式ホームページ：

#### >> D-INTERNSHIP 参加企業の方は必ず目を通してください。

龍の仕事展実行委員会：「D-INTERNSHIP」

<http://project-g7.com/wordpress/>

### ■成長する企業のためのインターンシップ活用：

#### >> 興味がある方は目を通してください。HPで公開されています。

経済産業省：「成長する企業のためのインターンシップ活用ガイド（基本編/活用編）」

上記名称で検索 もしくは <http://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/intern/guidebook-all.pdf>



## ■目的：人材育成への支援

>> 自己啓発力・自己教育力・地域戦略を身につけた人材育成の支援

## ■研修プログラム：赤字は参加企業も関わる部分です

【事前研修Ⅰ】6/25(日)10時～17時 ・ 【事前研修Ⅱ】7/2(日)10時～17時 全2回必須

・龍の仕事展を通して地域貢献のあり方を学び、プログラムへ参加する意義と心構えを再認識すると共に、企業訪問をするために必要なマナー・コミュニケーションの基礎を身につけます。

◆担当企業マッチング 7/12までに：事務局・講師3名にて

◆企業交流会 7/12(水)17時～19時(倉敷商工会議所)：参加企業：企業研修および協働プログラム実施の留意点と解説

【企業研修】7/13(木)～9/15(金)：参加企業必須

・各自がアポをとり企業研修へ。3回以上の企業訪問により龍の仕事展での課題の共有、企業への提案、達成目標を持ち帰ります。

【企業研修の一部として企業との協働プログラムの実施】7/13(木)～9/15(金)：参加企業必須

・販促ツールの作成や展示の準備など、企業との協働プログラムに取り組みます。  
DESIGN STUDIO PROJECT-G(講師：久保田)がサポートします。

【中間研修】8/20(日)10時～17時(補講日：8/27)

・企業や事務局に対しての「報・連・相」の徹底。企業研修の進捗状況を学生同士で話し合い、情報を共有。他者の取り組みを参考に、自分が取り組んでいる施策・達成目標の見直しやブラッシュアップを行います。また、龍の仕事展までの行動計画表を作成します。(企業と協働でつくる印刷物などの販売促進ツールは中間研修に素案を持ち寄る)

【直前研修】9/11(月)10時～17時(補講日なし)

・5日後に始まる「龍の仕事展」における最終確認。自ら取り組む施策・達成目標を学生同士で話し合い、情報を共有。自分の担当ブースだけでなく、周辺のブース企業、関連ブース、会場全体の取り組みを理解し、把握することで互いの連携と支援しあえる土壌をつくります。

【PDCA実践(龍の仕事展)】9/16(土)～9/24(日)

・朝、夕のミーティングを通して目標、対策、反省、改善案など発表し、PDCAサイクルを回すことで目標達成を目指します。会場全体へ目を向けることで協働の相乗効果を実感します。

【成果発表会】10/1(日)10時～17時(補講日：10/15)：是非、公聴にお越しく下さい

・インターンシップ・プログラムの全体を通して、何に気づき、何を学び、何を得たかを振り返ります。更に、今後の人生にどう活かすかを考えます。

【直後研修】11/1(水)～11/30(木)

・研修全般を通して優秀な学生から優先に選抜して、振り返りのブラッシュアップ、プレゼンテーションや伝わる伝え方のスキルアップの事後研修が受けられます。

【最終成果発表会】12/3(日)14時～17時(備中県民局 会議棟)：担当の学生が選ばれましたら、必ずお越しく下さい

・一般公開の成果発表会です。代表の8名の学生が10分の持ち時間で成果を発表します。更に優秀な学生を表彰します。

## 学生と行う協働プログラムとは

## 事業支援

企業研修の一部として企業との協働プログラムの成功が、結果、「龍の仕事展」での売上や成果につながっています。

### ■D-INTERNSHIP公式ホームページ：必要書類ダウンロード

>> ◆D-INTERNSHIP活動の様子(昨年度の事業報告書から活動の様子をPDFにしました)

[http://project-g7.com/D\\_INTERNSHIP/D2016report.pdf](http://project-g7.com/D_INTERNSHIP/D2016report.pdf)

■受付期間： 2017年5月22日(月)～6月19日(月)

■公募趣旨： ものづくりに関わる企業は、その発生・発展・開発商品が地域特有の気候・風土・歴史・文化に大きく影響を受け派生しています。すなわち土着企業の生き残るための工夫こそが、地域と密接に結びつく固有文化を形成するものです。高梁川流域で営業するものづくりの企業が、企業文化に焦点をあてた地域文化の展示・商品の販売を行うものです。

■応募資格： 1) その派生を高梁川の豊かな恵みに起因する老舗のモノをつくる企業  
2) 時代の変化を捉え、新たに次世代へ受け継がれるモノをつくる企業  
3) **モノは有形・無形を問いません**  
4) **新卒大学生の求人・人材を求めている企業**

■開催形式： 1) 出展者ごと会場を分け、各企業が展示。  
2) 各社が直接販売する場合は売上を100%還元。  
3) 会場スタッフが委託販売を行う場合は手数料として10%いただきます。  
4) **企業交流会にはどなたか必ずご参加ください。**

■応募方法： 申込用紙に必要事項を記入の上、提出してください。

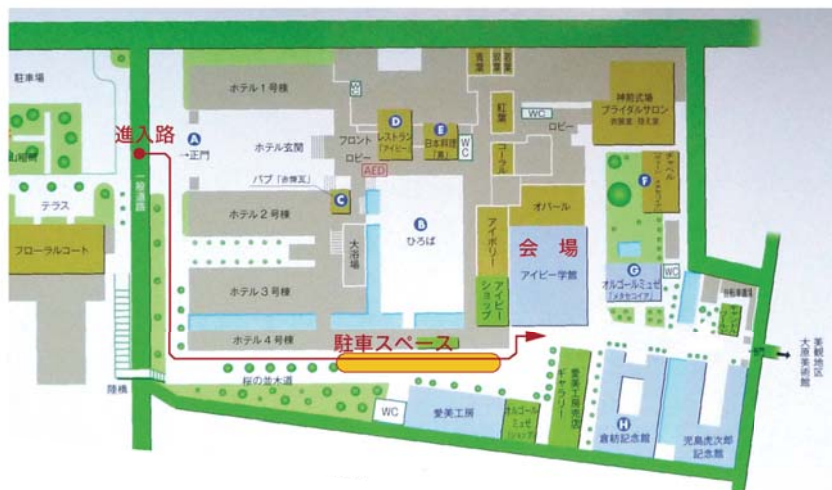
■応募先： 〒710-0052 倉敷市美和2-10-18 DESIGN STUDEIO PROJECT-G内  
龍の仕事展実行委員会 事務局宛 電話：090-7502-6177 (久保田)  
FAX：086-431-0781 (久保田宛) メール：botta@project-g7.com

■参加費用： ・出展料：1企業様 50,000円 (1ブース：展示期間9日間) 申込時  
(内：会場費/広報費/運営費/A1企業紹介パネル1枚※新規出展者のみ)

■タイムスケジュール：2017年5月22日(月)～6月19日(月) 出展企業募集  
2017年7月12日(水)17:00～19:00 **企業交流会【倉敷商工会議所】**  
2017年7月13日(木)～9月15日(金) 学生の企業研修(最低でも2～3日は受入をお願いします)  
2017年9月16日(土)～9月24日(日) 展示会【倉敷アイビースクエア・アイビー学館】  
2017年12月3日(日)14:00～17:00 一般公開の最終成果発表会【備中県民局 会議棟】

■搬入搬出： 2017年9月14日(木)～9月15日(金)10:00～18:00：搬入  
2017年9月16日(土)～9月24日(日)10:00～17:00：展示会  
2017年9月24日(日)18:00～21:00 ・ 9月25日(月)10:00～17:00：搬出・現状復帰

搬入路は以下の通りです。搬入時に混雑が予想されますので、荷降ろしが済みましたら速やかに車の移動をお願いいたします。大きいもの、重いものの荷降ろしは建物の入口付近に横付けして行ってください。軽いものはできるだけ駐車スペースに車を止め、持ち込んでください。駐車スペースでは他の車の通行を妨げない様に配慮してください。搬入が込み合わないよう搬入のシフトを組みます。アイビースクエアの指示に従ってください。



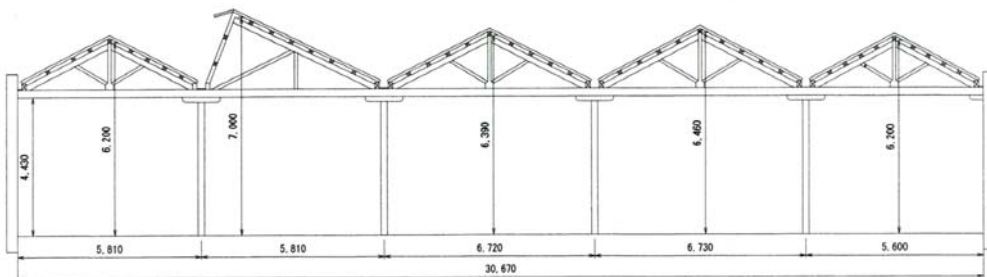
- ・基本的に展示什器、椅子等、ブース内設置時に必要な工具は各自でご用意下さい。脚立はあります。
- ・基本的には実行委員会で用意するパネルはA1パネル1枚となります。それ以外に必要であればお早めにご相談ください。
- ・展示壁への釘打ちは可能です。ピクチャーレールへの金具などは参加者でご用意下さい。
- ・床は石材であるため不陸があります。什器、椅子などの設置には不陸をとる詰め物が必要になります。
- ・床を傷つける可能性がある場合は、必ず床面を養生して下さい。
- ・喫煙は所定の場所にてお願いいたします。基本的に会場は火気厳禁です。
- ・ゴミは撤去時にお持ち帰り下さい。
- ・展示場所は全体の会場づくりを優先し、ご希望に添えないこともございます。

# 展示スペースの目安

# 展示空間

出展者が決まりましたから、展示の配置計画を立てさせていただきます。現地での調整もごございますので、ひとつの目安としてお考えください。展示場所は全体のバランスを見て決定させていただきます。下記は2016年のレイアウトです。

## Established in 2010 #07 ■ 会場案内図



歩経路が確保できれば前面に張り出して展示できます。また、天井高を生かした展示もご検討ください。委託販売コーナーは、展示コーナーに比べ、やや狭くなります。



## 申込用紙

FAX:086-431-0781  
botta@project-g7.com

HPに word のファイルが用意されています。

■ 企業情報		
参加企業名		
所在地		
U R L		
代表者氏名		
営業品目		
創業年月日		
営業品目		
展示責任者	部署・役職：	氏名(フリガナ)：
	連絡先(携帯)：	(メール)：
展示担当者	部署・役職：	氏名(フリガナ)：
	連絡先(携帯)：	(メール)：
交流会参加者	人	氏名：
販売商品の有無	有 ・ 無	直売り ・ 集中レジ委託
大学生と共有する課題		

■ 展示コンセプト(展示の内容や主旨をご記入ください) (※別紙にて提出可)

■ 展示コンセプト(展示の内容や主旨をご記入ください) (※別紙にて提出可)

■ 参加費振込先

参加費(50,000円)は7月31日までに下記の口座へお振込みください。

※中国銀行 倉敷本町出張所閉店の為、口座が変更しました。ご注意ください。

■ 中国銀行 倉敷駅前支店 普通 2325884 口座名義：リュウノシゴトテンジッコウイインカイ